



めざそう犯罪に強いまちづくり

【タイヤ盗難に注意】

例年、タイヤ交換時期に被害が増加する傾向にあります。タイヤを盗まれないために、次のことに心掛けましょう。

- 鍵のかかる車庫などに保管し出入口を施錠する。
- タイヤを鎖などで連結して施錠する。
- タイヤに目印をつける。
- センサーライトなどの防犯機器を活用する。



【不審者に注意】

北広島市内では、子どもや女性が被害に遭う犯罪が発生しています。不審者への対策として、次のことに心掛けましょう。

★女性に対する犯罪被害の防止

- 夜間の一人歩きは極力避け、人通りの多く明るい道を通る。
- イヤホンで音楽を聴いたり、スマートフォンを操作しながら歩かない。
- 防犯ブザーなどの防犯グッズを携帯する。
- 玄関に入って施錠するまで周囲に十分警戒する。



防犯ブザー

★子どもに対する犯罪被害の防止

- 普段から『いかのおすし』について教える。
- 知っている人でも一人ではついていけないことを教える。
- 防犯ベルや防犯ホイッスルで大きな音を出すことを教える。
- 近所で人目のつかない場所があれば近づかせないことを教える。
- 「子ども110番の家」「防犯ステーション」の場所を確認させる。

『いかのおすし』について
知らない人についていけない
車には絶対にのらない
おおごえをだす
すぐにげる
まわりの大人にしらせる

北広島市内の犯罪発生状況について

北広島市内の「空き巣」等の刑法犯罪の発生は、7月末現在 146 件で前年同期と比較して 51 件減少しています。しかし、暴行・傷害などの粗暴犯、子供・女性被害の犯罪は増加しており、車上狙い、侵入窃盗についてはわずかに減少しているものの高止まりという状況です。

空き巣等の犯人は、短時間で犯行を終わらせるため、1つのドアや窓に鍵が複数ついていると犯行をあきらめる、**光・音・人の目**が弱点と言われています。窃盗の被害に遭わないために、このことについて説明します。

- **光**～街灯、門燈、センサーライト、部屋の明かりなど
- **音**～人の声、犬、防犯ベル、警報機（機械警備を含む）など
- **人の目**～通行人・付近住民から声を掛けられる、人通りが多い、防犯カメラなど



特殊詐欺の被害に遭わないために

北海道警察の発表では、道内における平成30年7月末の特殊詐欺の被害件数は88件で前年同期と比較して68件減少し、被害総額は約2億円で前年同期と比較して約1億2,000万円減少しています。

この被害の特徴としては、

- 振り込み詐欺（オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金等詐欺）のうち、還付金等詐欺の被害件数が増加しており、架空請求詐欺は被害件数が若干減少しているものの被害総額が前年同期の約2倍の約1億1,000万円になっている。
- 被害件数88件のうち、女性の被害が60件、65歳以上の方が43人被害にあっている。
- 「動画料金が未納」とのメールや「訴訟告知」とのハガキを送りつけてお金を要求する架空請求詐欺の被害が増えている。
- 被害金を交付する手段は、手渡し（カードの手渡しを含む）、ATMからの振り込みが多くなっている。



一方、北広島市内の特殊詐欺の発生は、今年5月に男性が架空請求で296万円をだまし取られるという被害にあっています。

特殊詐欺の被害に遭わないためには、

- 電話番号が変わったといわれても、必ず元の番号に電話して確認する。
- 振り込み(送金)等の要求があっても、慌てず、すぐに行動に移さない。
- 一人で決断せず、家族や警察に相談する。
- 電話をいったん切った後、必ず本人や家族と連絡を取り、確認する。
- 身に覚えのない請求に対しては、一切連絡をしない。

ことが大事です。

また、犯人は、人をだますプロですから、下記のとおり家族や地域の方々と絆を深めて、みんなで特殊詐欺被害を防ぎましょう。

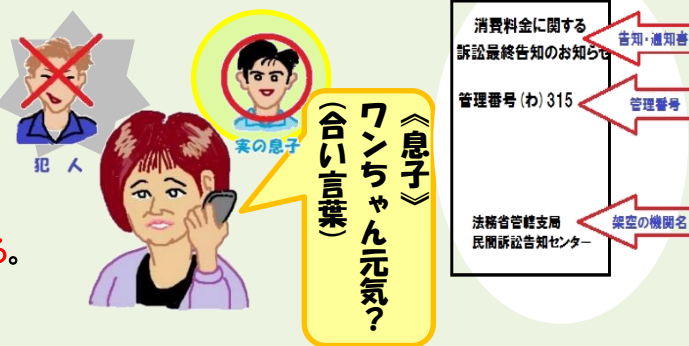


《家族でできること》

- 家族だとわかる「合い言葉」を決めておく。
- 普段から相談する人を決めておく。
- 詐欺の手口に関心を持ち、大切な人に伝える。

《地域でできること》

- 近所の高齢者の方と
- 普段から、挨拶など声を掛け合う。
- 町内会活動等を通じて、話しやすい関係を作る。



義援金詐欺に注意!



相手の確認はしっかりと!

- ・ 公的な機関・団体は、電話や訪問はしない。
- ・ 振込先(口座番号、名義)は、テレビ・新聞・ラジオ等で確認。

災害に便乗した悪質商法などにもご注意ください。

～過去の震災時に見られた主な事例～

市役所職員を装い家庭を訪問し、募金を集めた。

息子をかたり「職場で集めた義援金をなくしたのでお金を準備してほしい。」と現金を求めた。

「仮設住宅に入っている人を老人ホームに入れたいので名義を貸してほしい。」と言い承諾を得た上、後日、「名義貸しは犯罪」と言って解決金を求めた。

いざというときの備えは十分ですか？

「風水害(台風)に備えて」

○事前の対策

- ・気象情報を確認しておく
- ・あらかじめ避難場所や避難経路を確認する
- ・屋根、煙突、アンテナ、看板、塀などの点検・補強を実施する
- ・ベランダや家回りの鉢植え、物干しなど飛散の危険が高い物は室内へ取り込む
- ・側溝のゴミや土砂を取り除く

○緊急時に備えた対策

- ・屋外が危険と予想される時は、外出は避ける
- ・停電に備え懐中電灯、携帯ラジオを準備する
- ・緊急避難に備え非常持ち出し品を準備する
- ・断水に備え、飲料水を確保しておく
- ・危険を感じた時、避難の勧告や指示があった時は、迅速に指定の避難場所へ避難する
- ・自力で避難することが難しい時に備え、助けを求める連絡先を確認しておく
- ・近所と協力して、災害時に支援が必要な方々の避難や連絡方法を話し合っておく

「地震に備えて」

○室内の安全確保

- ・家具類の転倒防止をし、高いところに重いものを置かない
- ・寝る場所の近くや玄関に転倒の恐れのあるものは置かない
- ・ガラスにはフィルムを貼るなど破壊飛散防止をする
- ・スリッパや懐中電灯を手近なところに用意する

○非常持ち出し品の用意

- ・水は1人1日3リットル必要なので、多めに用意しておく
- ・保存できる食料を、最低3日分用意しておく
- ・卓上コンロや固形燃料を用意する
- ・懐中電灯を一人1個用意する
- ・正しい情報を聞くためにラジオを用意する
- ・貴重品、救急医薬品、下着、雨具などを持ち出し袋に用意し、目のつく場所に置いておく